豊浦町アイヌ施策推進地域計画

地域計画は令和５年度までの計画期間で、「アイヌ文化等の次世代への承継を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成」を目標とし、町が今まで取り組んできたさまざまなアイヌ文化振興施策をさらに進めていく内容となっています。

①アイヌ文化関連の観光プロモーション事業

豊浦町「礼文華カムイノミ・イチャルパ施設等」基本設計・実施設計

1.基本コンセプト

礼文華に、新しいチセをつくろう。チセとは、家。チセとは、みんなが集まるところ。
地域住民も、キャンパーも集い、火を囲み、料理を囲み、人と人、人と自然、人と自然の歴史をつなぐ。そこには、人と自然と神々の自然なつながりがある。礼文華に新しいチセをつくろう。

2.計画概要

■礼文華カムイノミ・イチャルパ施設
建設地　　：字礼文華海浜地
用途　　：集会場、その他
主要構造　：木造、１階建
敷地面積　：2321.38 ㎡
建築面積　：290.66 ㎡
延べ面積　：294.76 ㎡（容積対象床面積 277.41 ㎡）
最高の高さ：6.356m
■バンガロー棟
トレーラーハウス１：8.152m×2.435m　トイレ・シャワー・手洗い付き　２棟
トレーラーハウス２：6.095m×2.435m　手洗い付き　３棟
各トレーラーハウスには奥行き 5m のウッドデッキを設置する。

3.配置計画

礼文華カムイノミ・イチャルパ施設はキャンプ場受付機能を有するため駐車場出入口付近のテントサイト内に配置する。
バンガロー棟は既存建物とチセ礼文華棟間に２棟、海岸沿いの３棟配置する。

4.平面計画

平面計画はキャンプ場受付機能を有する屋内空間（以下レセプション棟）とカムイノミ・イチャルパ（以下カムイノミの間）が行われる半屋外空間にて構成される。
レセプション棟は駐車場に平行に配置し、カムイノミの間はアイヌ伝統に基づき東向きに配置する。レセプション棟内のラウンジはさまざまな状況に対応できるように事務所・倉庫・キッチン・トイレなどを駐車場側にまとめ、ラウンジは海側の眺望を確保しつつフレキシブルな空間とする。
またカムイノミの間は通常時には地域住民もキャンパーも自由に使用可能な空間とし、コミュニケーションが誘発される空間とする。

②ミュージカル開催事業

ミュージカル「松浦武四郎 - カイ・大地との約束 -」開催

12 月 6 日、地域交流センターとわにーにて、わらび座によるミュージカル「松浦武四郎 - カイ・大地との約束 -」が、豊浦町民で中学生以上の方対象に無料で開催されました。
松浦武四郎は、幕末の探検家であり、アイヌ民族の協力を得て北海道の調査を行い、膨大なアイヌ語の地名を始め、多くの資料を残しました。
また、明治政府からの依頼で、蝦夷地に代わる新たな名称として、「北海道」の元となった「北加伊道」を提案し、北海道の名付け親としても知られています。「カイ」はアイヌ語で「その土地に住む人」という意味だと聞いた武四郎が、アイヌ民族を尊重する思いを込めたといわれています。